

第40回企業短観調査 (2022年5月) 実績分

調査結果

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	11 (28.2%)
建設業	255	16 (6.3%)
小売業	484	25 (5.2%)
サービス業	416	23 (5.5%)
製造業	121	17 (14.1%)
全業種	1,315	92 (7.0%)

考察

前回調査と比べると、売上状況、収益状況については、実績及び今後の見通しで、「増加する」と回答した事業所の割合が増えており、徐々に景況は回復傾向にあると思われる。特に卸売業、建設業で「増加する」と回答している。資金繰りについては、小売業で苦しいとの回答が多く、また前回調査よりも「楽」と回答した事業所の割合が減少しており、依然として厳しい状況が伺える。人手については、製造業で「不足」と回答した事業所の割合が減少しており、若干ではあるが人出不足解消傾向にあると思われる。

活動回復に伴う個人消費拡大による卸売業、サービス業での景況感の改善や県民割等需要喚起策により客足が回復して来ているが、前回同様、原材料の高騰や部品調達難が以前続いており、先行き不透明である。また、各業種ともに新型コロナウィルス感染の再拡大や円安など不安視している。

